

広報

わかさぎ

Public Relations Wakasagi



おげんき

高齢者の声

今年米寿、95歳を迎えた皆さんの中から7名の方に、長寿の秘訣などをうかがいました。

※上段写真左から

■玉井みつさん（三宅・88歳）

ひ孫の菜月ちゃん（2歳）と一緒に昼寝して、大変楽しい毎日を過ごしています。好き嫌いせず、なんでもおいしく食べるのが長寿の秘訣です。

■田辺年夫さん（鳥浜・88歳）

碁をうったりしながら、お話しするのが生きがいです。ひ孫の成長をみるのがとても楽しみです。

■久保富美子さん（南前川・88歳）

今でも、日本舞踊を20人の生徒に教えています。みんなと仲良くお話し、楽しく過ごすのが長寿の秘訣です。

■井上庄司さん（下中・95歳）

若いころの苦労が実を結びました。70歳を過ぎてからはひょうたんづくりに熱中しました。「くよくよするな、無理するな」の精神で長生きしています。

■西崎のふさん（田立・95歳）

今でも、家の周りの草取りなどをして、仕事をするのが生きがいです。食べ物も好き嫌いありません。朝の早起きは欠かさず、これが長寿の秘訣です。

※下段写真左から

■青山ハナさん（山内・88歳）

野菜づくりが生きがいです。出来た野菜を人にあげて喜んでもらった時が大変嬉しいです。長寿の秘訣は、人とお話しして交流を持つことです。

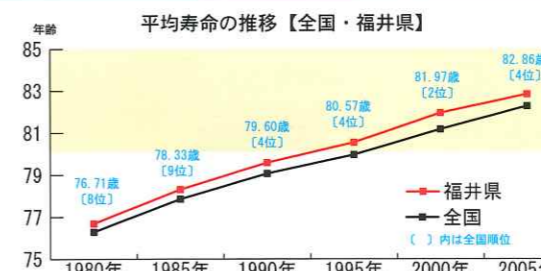
■芦田すずゑさん（東黒田・88歳）

畑の仕事をして、そこで会った人と一緒に話すのが楽しみです。3度の食事をおいしくいただき、夜はぐっすり寝るのが、長寿の秘訣です。

敬老の日を前に、千田町長が高齢者宅を訪問し、長寿を祝いました。

若狭町では毎年、その年に米寿を迎えた88歳の高齢者と95歳、100歳以上の高齢者に寿詞と記念品を贈っています。

千田町長から寿詞と記念品を受け取ると、「こんなに幸せなことはない。長生きしていて良かった。皆さんのおかげです」と涙ながらに話す高齢者もいました。



■若狭町はどうか？

今年4月に公表された平成17年市町村別生命表によると、若狭町の男性の平均寿命は80.1歳で県内1位、女性は86.4歳で県内4位、男女あわせた若狭町の平均寿命は**83.3歳で県内1位**で、若狭町は県内一の長寿な自治体という結果がでました。

また、平成18年度の市町村別老人医療費を見てみると、若狭町の年間一人当たりの老人医療

費は県内でも3番目に安い状態にあります。

受診率についても同じく県内で3番目に低い状態にあります。

これは、病院などにあまりかからず、医療費の高い大きな病気や入院も少ないことを意味し、若狭町の高齢者が健康であることを表しています。

9月15日は敬老の日。
若狭町内の65歳以上の方は、4月1日現在で4,794人、町民全体の約28%にあたります。
このような中、いつまでも健康で、長生きするため、高齢者の皆さんは日ごろから活発に活動をされています。
今月号では、生き活きと老後を満喫する皆さんを紹介し、その活動と健康長寿の秘訣、若狭町の今後についてお届けします。

検証 若狭町の長寿

■誰もが知っている 長寿県・福井

国勢調査などをもとに、5年ごとに厚生労働省が算定を行っている「都道府県別生命表」（最新版・平成17年版）によると、福井県の平均寿命は男性が79.47歳、女性が86.25歳で、男性は全国で4位、女性は11位に位置し、男女平均では4位とトップクラスでした。前回の平成12年調査の2位からは順位を落としたものの、昭和55年以降10位

以内と常に上位を維持しています。

また、福井県では健康長寿に生きられる地域の活力を長寿、健康、生活形態など各指標をもとに、独自の「健康長寿力」を算定しました。

算定の結果、福井県は「健康長寿力全国第2位」に評価され、健康長寿県であることを証明しました。



若狭町の平均寿命 83.3歳 (県内1位) 男性 80.1歳 女性 86.4歳

どうしたら

健康長寿・福井県の中で、最も長寿な町、若狭町。ではなぜ、若狭町の皆さんは長寿なのでしょう。高齢者の皆さんの活動から、長寿の秘訣を探ります。

□仲間づくり

「若狭町老人クラブ連合会」は現在会員数3,342人の町内最大の高齢者組織。「創造と連帯の輪を広げて、心豊かな21世紀を」をモットーに会員の生きがいと健康づくりを推進しています。

具体的な取り組みとしては、グラウンドゴルフ大会やゲートボール大会の開催、老人大学や健康教室などの講習会の開催、ボランティアなどに取り組んで

います。

会の最大の目的は、仲間づくり。各事業を通じて会員が集まり交流することで、健康で生きがいのある暮らしを实行するとともに、仲間どうしで支えあう地域社会の形成に努めています。

同連合会会長の小堀清彦さん(鳥浜・71歳)は「会員全員が一堂に会して、楽しむ機会をつくって、友だちの輪を広げてい



小堀清彦さん

きたいと思います」と今後の活動の抱負を語ってくれました。

□体の健康はもちろん 心の健康のためにも

「体の健康は誰もが気をつけていることでしょう。しかし、皆さん心も健康でしょうか。体だけでなく、心も健康にすることが元気に暮らす秘訣ですよ」と話すのは、若狭町グラウンドゴルフ協会会長の森川善雄さん(鳥浜・75歳)。森川さんは「グラウンドゴルフやゲートボール

などのスポーツを通じて、皆さんの人とふれあい、話すことが心のゆとりにつながります」と教えてくれました。

グラウンドゴルフの大会を前に、若狭テクノパークで練習をしていた仮屋の山本泰子さん(72歳)、古坂綾子さん(73歳)、田中みさ子さん(73歳)は「楽しいことをするのが一番。グラウンドゴルフをすることが、楽しみで楽しみで。お話ししながらプレーもできるし、心が健康になります」と笑顔で話していました。

若狭テクノパークのグラウンドゴルフ場は、協会に所属する



森川善雄さん

会員らが芝生を植え、草取りや貸し出しなどの管理も行っています。自分たちで作り、管理し、利用する姿は生き生きと輝いていました。

- 長寿の秘訣 - 長生きできるのか



楽しく食事する参加者



松山 勇さん

□健康管理は、食事管理から

毎月第2木曜日に行われている“男の料理教室”。教室は、参加者の交流と食の自立を進めるため町が開催し、65歳以上の男性高齢者が参加しています。

◆◆献立・調理◆◆

まず、参加者は教室が終了すると、次回の献立を考えます。季節の旬のもの、取れている野菜や果物などからメニューを決めると保健センターの栄養士に相談。栄養士は、カロリーや塩分量、栄養バランスなどから、献立を指導します。

取材時に参加者らが考えた献立は、ごはんと八宝菜、コーンスープ、杏仁豆腐、できれば唐揚げでしたが、栄養士からは「やはり、カロリーが高くなるので唐揚げはやめて、たくさんの野菜と豚肉が入った八宝菜にしましょう」などのアドバイスを受け、参加者らは唐揚げをあきらめました。

調理日の前日には、代表者が買い物に。食材を見つけると価格や添加物、容量など細かくチェックして品を選びます。

そして、料理教室当日。食生活改善推進員のサポートを受けながら、参加者の皆さんは野菜を切ったり、調味料を計量したり全て自分たちで行います。参加者らは、見事な包丁さばきで手際よく調理していました。

◆◆参加者の声◆◆

教室開始当初から参加している松山勇さん(高岸・74歳)は「食事の管理が必要となり、この教室に参加するようになりました。参加してからは体重が減り、健康に。いろいろなものが食べられるようになりました」と教室の効果を話してくれました。松山さんは、朝の体操とウォーキングもされているそうです。

「教室に参加して初めて料理をしました。味付けなど、いろいろなことを教わり勉強になります」と話すのは、田村勲さん(倉見・75歳)。田村さんは「塩分量やカロリー量などに気をつけ、ふだんの食生活も変わりました。教室は、みんなとお話したり交流できるので、毎月楽しみです」と笑顔で話していました。

★★食生活と健康長寿★★

県の調査では、福井県は米を中心としたバランスの良い食事が摂られており、脂肪の摂取量・質ともに良く、豆類やいも類を好むということがわかりました。若狭町もすばらしい自然で育った海・山・里の食材でつくる古くから受け継がれてきた伝統的な食生活が健康長寿を支えてくれていると考えられます。



田村 勲さん

左から山本泰子さん、古坂綾子さん
田中みさ子さん

長寿社会に向けて

□あなたもいつかは高齢者

右のグラフは若狭町の人口を年代別に見たもので、年齢が高いほうにグラフの山ができています。この山は55～59歳、いわゆる「団塊の世代」と言われる年代で、若狭町の人口の約8%を占めています。

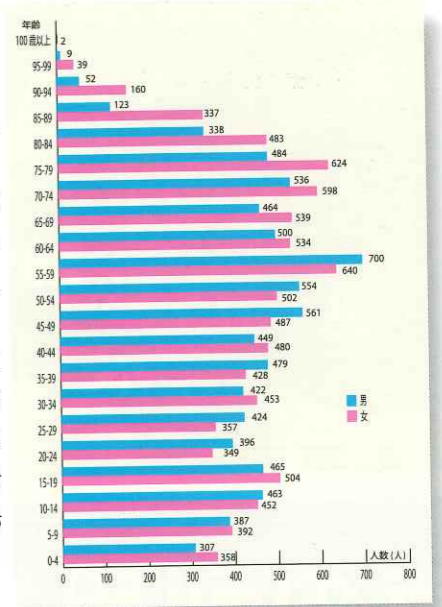
この団塊の世代の方々も、あと5～10年すると高齢者の仲間入りとなり、高齢化率も上昇が予想されます。

現在は健康な体であっても、退職などにより仕事からいった

ん離れると、交流も減り、体を動かすのも少なく、身体能力の低下を招いてしまいます。

こうなると多額の医療負担なども予想され、若年層が少ない若狭町では、高齢者を支えきれない事態が発生しかねません。

このような事態を防ぐためにも、今から高齢者になるための準備が必要です。生活習慣病の予防や生きがいづくりなど、今一度、自らの健康を見つめなおすことが大切です。



□限界集落

近年「限界集落」という言葉が報道されています。限界集落とは、過疎化などで人口の50%以上が65歳以上の高齢者になり、社会的共同生活の維持が困難になった集落を指します。

若狭町内の各集落の65歳以上の人口比を調査すると下表のとおりとなります。

現在のところ、町内では限界集落は存在しませんが、限界集

落につぐ状態の集落も見受けられます。

この比率は小さい集落ほど高くなっていく傾向があるものの、将来を見据えて地域で準備をすすめる必要があります。

都市計画やまちづくりに詳しい福井大学工学部の川本義海准教授は「65歳以上の人口比率が高くなっても、みんなが活動的で元気であれば社会的共同生

活維持でき限界集落とは言えません。小さい集落などは、隣の集落との連携や広い範囲のコミュニティづくりを考えていく必要があります」と教えてくれました。

限界集落にならないためにも、生きがいを持ち、健康づくりに努めましょう。

若狭町集落別 65歳以上人口比一覧表

[平成20年3月31日現在住民基本台帳調べ]

集落名	65歳以上人口比	集落名	65歳以上人口比	集落名	65歳以上人口比	集落名	65歳以上人口比	集落名	65歳以上人口比	集落名	65歳以上人口比
倉見	28.2%	北前州	25.6%	伊良積	37.5%	無悪	32.9%	瓜生	28.3%	神谷	25.3%
白屋	35.1%	佐古	34.0%	北庄	24.4%	三田	34.8%	関	29.9%	日笠	32.3%
成願寺	31.1%	田名	43.1%	海山	31.3%	小原	31.6%	若葉	7.1%	あじさい	3.0%
上野	25.7%	向笠	35.2%	世久見	26.8%	南	23.5%	サン・コーポ	0.9%	杉山	29.6%
能登野	27.3%	鳥浜	30.7%	食見	26.9%	山内	25.7%	グリーンハイツ	5.6%	堤	33.6%
横渡	30.7%	館川	9.4%	塩坂越	30.3%	持田	31.4%	熊川	43.6%	兼田	29.4%
井崎	26.2%	三方	33.0%	遊子	26.1%	長江	30.5%	新道	24.2%	武生	23.3%
高岸	11.1%	気山	32.0%	小川	27.5%	朝霧	9.7%	河内	26.3%	玉置	22.3%
岩屋	32.6%	上瀬	2.2%	神子	31.8%	末野	34.3%	せせらぎ	11.8%	上野木	30.3%
田上	30.1%	成出	47.7%	常神	29.3%	安賀里	30.3%	仮屋	36.4%	中野木	30.2%
東黒田	36.9%	田井野	33.3%	大鳥羽	23.1%	下夕中	28.6%	若王子	26.8%	下野木	30.4%
相田	33.9%	梅ヶ原	47.6%	上黒田	26.4%	有田	29.9%	三宅	27.4%		
藤井	33.3%	田立	28.9%	麻生野	31.9%	下吉田	32.8%	市場	29.2%		
南前川	31.5%	別庄	28.1%	海士坂	36.5%	上吉田	35.8%	井ノ口	29.3%	若狭町	28.4%
北前川	25.6%	世久津	26.7%	三生野	29.3%	脇袋	29.9%	天徳寺	26.8%		

いつまでも現役でありたい



山中さんと談笑する熊谷さん



森岡桑夫さん

□働くことが健康に

高齢者が、自らの経験と技術を活かし健康と生きがい活動のために就業するのが若狭町シルバー人材センターです。

センターには、町内の60歳以上の高齢者269人(8月末現在)が登録し、清掃や草刈り、庭木の剪定作業などを引き受け、活躍されています。

今年4月からは、訪問介護事業(ホームヘルプサービス)も手助け、要介護者のお家に出向き、食事の調理などを行っています。

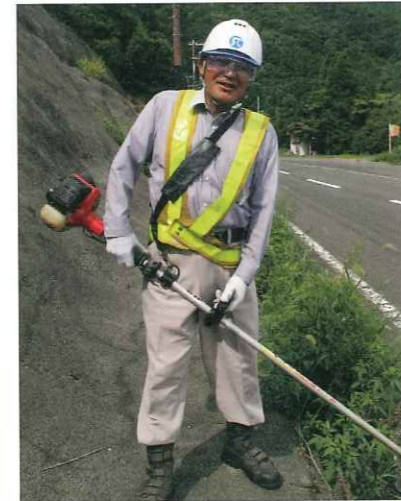
週に1回、生活援助で訪問介護を行っている熊谷まさ子さん(気山・65歳)は「ホームヘル

プを通じて人と接する機会ができてうれしく思います。仕事に行かなければという思いからやる気がでて元気に過ごせます。仕事をしながら健康で幸せな老後を送りたいです」と笑顔で話してくれました。利用者の一人山中ことさん(三方・91歳)は「熊谷さんが来てくれるのが毎週楽しみです」と元気に話していました。

庭木いじりの趣味が高じて、センターに登録したという森岡桑夫さん(堤・74歳)は「仕事をすることが生きがいです。作業したところが次の年どうなっているのを見ることも楽しみのひとつ」と汗を流しながら作業

に打ち込んでいました。

「作業をして人に喜んでもらったとき、どれだけうれしいか。作業を通じて知り合いが増え、楽しみも増えました」と話するのは上野敏夫さん(下野木・70歳)。上野さんは「シルバー人材センターの活動から“感動”と“交流”“健康”をもらってます」と生き活きと話してくれました。



上野敏夫さん

シルバー人材センターをご利用ください

屋内外の清掃や草刈、剪定などの作業を請け負います。詳しくは、本所 TEL0770-45-9125 上中支所 TEL0770-62-2712 まで

□生きがい=健康

今回の紹介しました例は、高齢者の皆さんの活動のほんの一部です。そのほかにも、野菜を育てて出荷したり、毎朝ウォーキングをしたりなど、様々な活動がありますが、全てに共通しているのが、それらの活動が生きがいになっているということです。高齢者がいつまでも健康であるために支援する若狭町地

域包括支援センターの河原生乃保健師は「いつまでも元気で住み慣れた地域で暮らすために大切なことは、まずは健康な身体です。脳血管疾患などの生活習慣病の予防と活動の足となる足腰を達者に保ち、転倒や骨折を予防すること。そして、なるべく閉じこもらずに外へ出て、人と交流し話をすること。生きが

いとなる楽しみを見つけることが大切です。身近な場所で集う『ふれあいサロン活動』も広がってきています。今一度、ご自分の生活を振り返り、自分らしく生き活きと楽しく暮らすために新しいことに挑戦してみませんか」と話しています。

人、環境、交通のために



福井県は、1世帯当たりの車の保有台数が約1.77台(2007年3月末)で全国1位です。また、交通手段の中で車が占める割合は76.7%に達しており、こちらも全国1位です。

つまり、福井県は全国有数の車社会なのです。自動車は、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素を排出したり、運動不足を招いたりなどの影響があります。

このような車社会を見直そうと、福井県では車の利用の代わりに、公共交通機関や自転車の利用を利用する「カー・セーブ」を推進しています。

車の利用を控えよう！ 毎月第2、第4金曜日は

運動不足、交通事故・・・ あなたの身におよぼす影響

皆さんは、ほんの近所までの用事でも自動車を利用していませんか？

自動車は、自宅から会社やお店など出発地から目的地までを直接移動できる便利な交通手段です。しかし、便利な反面、歩行距離が少なくなり運動不足となりかねません。

例えば、1時間車で移動する代わりに電車・バスと徒歩で移動すれば、それだけでカロリーの消費量は約2倍以上になります。

また、自動車は事故の交通事故の危険性があります。

統計によれば、一生のうち、10人中9人が交通事故を起こしていますし、5人中2人が人身事故、166人中1人が死亡事故を起こしています。

交通事故は、自分の身だけではなく、相手、家族にも悲劇をもたらします。

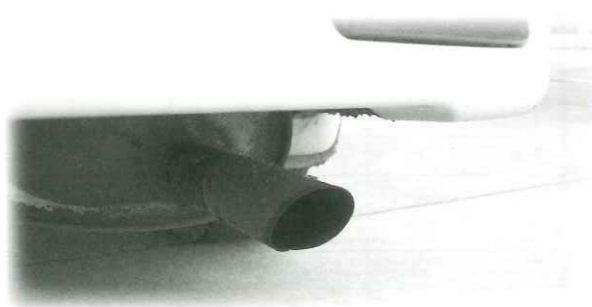
日ごろの運動不足の解消、健康づくり、そして交通事故防止のためにも自動車の利用を控えましょう。

自動車は、電車の10倍のCO₂を出している！！

自動車は、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素(CO₂)を多く排出しています。

自動車などの交通手段について、CO₂の排出量を比較すると、自動車は鉄道に比べると約10倍、バスに比べると約3倍のCO₂を排出しています。もちろん、徒歩や自転車はCO₂を排出しませんので、比較に値しません。

異常気象や生態系の変化など、地球温暖化がもたらす悲劇は年々増加しています。かけがえのない地球を守るためにも、自動車の利用を控えましょう。



原油高騰で 車の負担は大きく

運転していると、どうも気になる燃費。原油の高騰を受け、ガソリン価格も上昇し、家計に与える影響は大きくなっています。

遠距離を通勤されている皆さんは、公共交通機関を利用する場合と比較してみたいはいかがでしょう？公共交通機関の利用は家計を助ける場合もあります。

★例えば・・・
十村～敦賀 自動車 約20,000円/月
(56km, 燃費9.7km/l, ガソリン170円/l, 21日の場合)
小浜線 約13,000円/月
1か月で約7,000円お得です！！

【自動車のコスト計算方法】

往復の通勤距離 km / 日 ÷ 実走燃費 km/l ×
ガソリン価格 円/l × 通勤日数 日 / 月

10月14日は鉄道の日

カー・セーブデー

地域の宝「JR小浜線」の 活性化のために

昭和の全盛期には、1日10,000人を超える利用者があった小浜線ですが、現在は5,000人を割り込んでいます。

小浜線は、2003年に電化され、高齢者や学生など交通弱者にとってはかけがえのない地域の宝となっています。

しかし、小浜線を運行するJR西日本は民間会社であるため、採算性から利用が少ないと、運行本数を削減する場合などが考えられます。

また、現在推進している「琵琶湖若狭湾快速鉄道」の建設についても、影響をおよぼします。

現在、関係ないと思っても、将来の自分自身や子どもたちにとって、小浜線は大切な交通手段です。

小浜線の活性化のためにも、自動車の利用を控え、電車を利用しましょう。

嶺南の心と夢を運びます
安全・便利な 小浜線

公共交通機関を使ってみようかな。
でも、何時に乗ったらいいかわからないし・・・
そんなときには

ばす・でんしゃナビふくい
を使うと便利です！

「ばす・でんしゃナビふくい」は・・・

- ・福井県内の電車、バスの時刻表や経路が簡単に検索できます。
- ・駅やバス停の位置も地図上に表示されますので、簡単に探せます。
- ・携帯電話の利用にも対応。外出先で利用することができます。

<http://koutsu.pref.fukui.jp/Default.aspx>

★町内5駅でパーク&ライドが可能です！
パーク&ライドとは、駅に自動車を駐車し、電車を利用することです。

町内5駅(三方、十村、大鳥羽、若狭有田、上中)には無料駐車場があります。

通勤のほか、おでかけにはパーク&ライドで小浜線を利用しましょう！

まちの話題

WAKASA TOWN NEWS

北京で燃えた

北京五輪男子バレーボール応援

北京五輪に出場した荻野正二選手を応援しようと、同選手の後援会員15人が、北京・首都体育館で行われた対ベネゼエラ戦で応援しました。

日本は、惜しくも敗れたものの、参加者は全力を出し戦った主将の荻野選手にあたたかい拍手を送りました。

北京五輪を日本代表選手としての最後の大会として挑んだ荻野選手ですが、日本は健闘もおなし決勝リーグ進出はなりません。

しかし、荻野選手がわたしたちに与えてくれた、夢や誇りは、まさしく金メダル。

荻野選手、ありがとう！

選手に声をかける荻野選手



応援幕をかかげ応援

フレッシュ&パワー

若狭プラスフェスタ 2008(7/21)

若狭プラスフェスタ 2008 がパレオ若狭で行われ、京都の大谷中・高吹奏楽部と、地元の美方高、三方・上中両中吹奏楽部が出演しました。

大谷中・高は、京都でもトップクラスの実力校で、約40年前から町内で合宿を行っています。

コンサートには、長年の大谷ファンも来場し、生徒たちのフレッシュでパワー溢れる演奏を楽しんでいました。

大谷高の三鷲昭教諭は「この交流は、お互い刺激になって、演奏の勉強になっています」と話してくれました。



大谷中と三方・上中両中の合同演奏

ドラム缶風呂 気持ち良すぎる～

野木小学校ふるさと子ども夢学校 (8/20～8/22)

野木小学校の6年生が漁業や農業を体験する「ふるさと子ども夢学校」を行いました。

若狭町の自然と親しむとともに、その恵みを再発見してもらおうと行われたもので、子どもたちは、シュノーケリングをしたり、カマドでご飯を炊いたり、漁業や農業を満喫しました。

なかでも、ドラム缶に張った水を底から薪で温めたお風呂では、子どもたちは、歓声をあげながら楽しげに入っていました。



ドラム缶風呂を楽しむ児童

感動のゴール よくがんばったね！

第9回チャレンジウオーク (8/21～8/23)

第9回チャレンジウオークが行われ、80人(うち小学生45人)が参加しました。

チャレンジウオークは、子どもたちが3日間、長距離を歩き、グループ活動を通して、忍耐力と団体行動、友情を結んでもらおうと毎年行われています。

今年のコースは、南越前町の板取宿から、木の



肩を組み、みんなでゴール

歌を歌い、励ましながら歩く子どもたち



芽峠を越え、敦賀市、美浜町を通って、若狭町までの約45km。

木の芽峠など荒れ道もありましたが、子どもたちは声を掛け合い、歌いながら乗り越えました。

ゴールとなった三方公民館前では、父兄らがお出迎え。手をつなぎ、肩を組み元気にゴールする子どもたちに大きな拍手を送っていました。

子どもたちは、この3日間の体験で、またひとまわり大きくなったようです。

古墳に登ったぞ！

古墳たんけんツアー (8/24)

夏休み企画として、町内の古墳を巡るツアーが行われました。

参加者らは、若狭では最大の古墳の上ノ塚古墳(脇袋)に登り、学芸員から古墳時代の若狭が重要な役割を果たしていたことなど、うなずいて聞き入っていました。

ツアーに参加した、井上義朗くん(三宅小6年)は「古墳があるのは知っていたけど、登ったのは初めて。すごいです」と話してくれました。



上ノ塚古墳の上で説明を受ける参加者

ナイスバッティング！

若狭町ソフトボール協会会長杯ソフトボール大会 (9/1)

若狭町ソフトボール協会会長杯ソフトボール大会が行われ、町内24チームが参加して熱戦が繰り広げられました。

なかには本格的なフォームから速球を投げ込む女性ピッチャーも。バッターは、そのスピードに驚きながらも、負けじと打ち返していました。

大会は、8つのリーグの勝者が決勝トーナメントで戦い、天徳寺チームが優勝、あじさい団地チームが次勝に輝きました。



熱戦を繰り広げる参加者

和 ～なごやかに～

若狭町長 千田千代和

飽食の時代に想う

-食と農業の循環型社会づくり-

我が国の農業生産額が概ね10兆円であるのに対し「食材の食べ残し」いわゆる残飯の処理費が11兆円掛かっているという衝撃的な話を聞いた。農家でさえ白米を食べることができず、麦やサツマイモ、ジャガイモ、豆、さらに大根を細かく切ったものを混ぜ、量を増やすことによって空腹を凌いだ戦中戦後の食糧難時代から今日の食生活は果たしてこれで良いのだろうか、天罰が下りはしないか、今にこの反動がくるのでは等々の現代。美食、飽食の限りを尽くし日本の食料自給率は40%（カロリーベース）。金さえ出せば、金で買うのが当たり前、そして食べ残しは捨てればよい、これが日本の現状である。

今、世界の食糧危機は地球温暖化による異常気象を発端とし

て、地球全体に大きく波紋を投げかけている。海外での食糧費高騰を始め、食糧危機の抗議運動や暴動が発生し死者まで出ている国もあるという。さらに自国民を飢えさせるくらいだったら海外に輸出しないと規制に踏み切る国も出ていると聞く。食料の約60%を輸入に頼っている我が国は果たしてどうなるのか。一方、今年1月末の中国ギョウザ事件をはじめとする安全・安心の問題を含め、危機に気付かぬ消費者意識を変える事こそ今後の大きな課題である。元を正せばこんな地球に誰がしたのかと大きく反省することが大事である。

今一つ、今年の夏から肥料が50%あまり値上がりしたと聞く。化学肥料原料のほとんどを外国からの輸入に頼っている少資源国の日本、そして省力化と増産のため化学肥料に偏重している日本の水田は今極度に土壌が疲弊している。身体にやさしい安全で安心な食料を、そして農業

を育てるのが大きな課題であり、その一つが堆肥等、有機肥料の継続使用による地力アップと云われている。

残飯の量を少しでも減らす事こそ当面の大きなテーマであるが、残飯の堆肥化による有機肥料への活用も今後の食生活を向上させる上において、間接的に低コスト、安全農業への大きな切り札であると考えられる。幸いに三方地域にはコンポスト施設(堆肥化)が4年前に完成し、畜産糞の有機肥料を毎年1300トン田畑に還元しているし、上中地域においてもサークル的に有機肥料の有効活用に取り組んでいる。今後は残飯の堆肥化へのリサイクルを進め、安全・安心と低コストの農業を進めることが、地球環境を良くし処理費の大きな削減効果につながる。一人ひとりの力は小さくとも、共同の力を集めることによって次世代に胸を張って継承できる環境を目指すことが大事である。

広報クイズ

■応募方法■

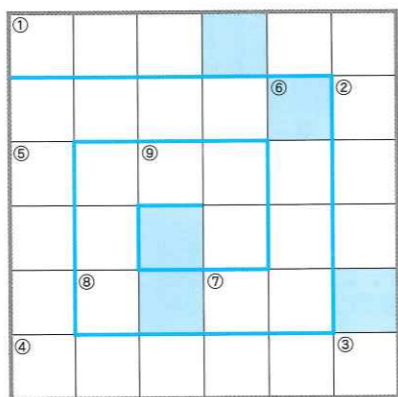
キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。5つある青いマスの文字を並びかえると、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想やご意見、住所、氏名を書いて、「〒919-1393 若狭町役場企画環境課」(住所は省略できます)まで送ってください。E-mailでも受け付けます (kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp)。正解者の中から抽選で5人に図書券が当たります。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

締め切りは10月15日(水)必着です。

しりとりうずまきクイズ

◇キーワード◇

- ①複数のコンピューターネットワークを接続し、全体で1つとしたもの
- ②大規模な竜巻のことを英語で
- ③大阪ミナミの有名な河川な何川
- ④魚をとる仕事をする人
- ⑤赤川次郎、志賀直哉の職業は
- ⑥生きた化石とも呼ばれる瀬戸内海の生き物
- ⑦北海道羊蹄山の北側に位置する町でスキー場が有名
- ⑧秋に咲く、薄紅色、白色などの花
- ⑨環境にやさしいペレット〇〇〇〇



ヒント：車の運転を控えよう

こたえ ○〇・〇〇〇

広報クイズ9月号の答え 『ケイロウ』

- ①ジョウモンマツリ ②リストラ ③ライブハウス ④スケート ⑤トロイ ⑥イイナオスケ
- ⑦ケンドウ ⑧ウミヤマ ⑨マイスター

Happy BIRTHDAY 3歳で〜可

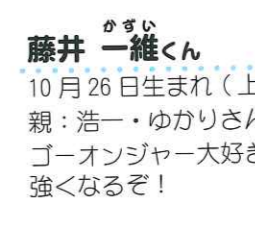
このコーナーでは、その月に3歳を迎える町内にお住まいの男の子・女の子に登場していただいています。ご応募いただいた方のみ掲載しています。今回は平成17年10月生まれの3歳になるお子さまです。



熊谷 真優くん
10月15日生まれ(藤井)
親：忠義・めぐみさん
ネネ 大好き♡
やんちゃな僕と遊んでくれてありがとう♡



吉田 歩実ちゃん
10月13日生まれ(東黒田)
親：卓生・直美さん
歌うの踊るの大好き
あゆちゃんです★



藤井 一維くん
10月26日生まれ(上瀬)
親：浩一・ゆかりさん
ゴーオンジャー大好き!!
強くなるぞ!



橋本 寧々ちゃん
10月14日生まれ(安賀里)
親：友寿・美奈さん
歌とおどりが大好き♡
お姉ちゃんと仲良くおどっているよ♪



今回は平成17年11月生まれのお子さまが対象です。写真と25字以内のコメント、生年月日、ご両親のお名前、連絡先を添えて、企画環境課または住民サービス室(上中庁舎)にお持ちください。(E-mailでの送付も可。)

10月6日(月)必着です。

●問い合わせ
企画環境課 TEL 0770-45-9110
E-mail: kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp
(E-mailの場合は受信確認のため、必ずお電話ください)

冠句	川柳	短歌	俳句
若狭町冠句の会 沸き上る 大喝采の 渦の中 若い声 町活性の 大合唱	ほっと川柳 太陽が落ちてきそう暑い夏 太陽の恵みで味を競い合う	川柳湖畔 朝粥に香華の中で禪の寺 猛暑に咲くひまわりだけが天と突く	つくし句会 生垣の角すつきりと盆迎ふ 恋歌のまこと涼しき河鹿笛 大鳥羽やよい会 成る程と月見て心開きたる 送り火や又来年を約したり
		誘われてゆく 茅葺きの板取宿に新積まれ古き世代へ	かをり歌会 佛様送りて子等も家路つくカナカナの声 ひびくこの夕 なす事もなく夫を看る日々なれば幼なにもどりお手玉ふり上ぐ
		世話を始める 土の匂い染みいる大きいこの両手大菊小菊の辻本	山口賀代子(氣山)
		岡本小百合(安賀里)	中村りゑ子(氣山)
		靖(兼田)	原田 想子(大鳥羽)
			松宮 保人(大鳥羽)
			原田 房枝(若王子)
			佐々木増治(若王子)
河原 敦子(向笠)	江南 とわ(田名)	山本 光子(兼田)	
		奥本 京子(玉置)	
		今川 てる子(鳥浜)	
		清水 博江(鳥浜)	

広報文芸

暮らしの

情報

BOX

2008_10月

三方庁舎 45-1111(代)

- 総務課 45-9109
- 企画環境課 45-9110
- 税務課 45-9101
- 住民課 45-9106
- 建設水道課 45-9104
- 農林水産課 45-9102
- 商工観光課 45-9111
- 会計課 45-9100
- 議会事務局 45-9117
- 保健センター 45-1563
- 三方診療所 45-0714
- 教育委員会事務局 45-2222
- 三方図書館 45-9115
- 縄文博物館 45-2270

上中庁舎 62-1111(代)

- 福祉健康課 62-2703
- 子育て支援課 62-2704
- 文化振興課 62-2508
- パレオ若狭図書館 62-2505
- 文化財室 62-2711
- 住民サービス室 62-2700
- 上中病院 62-1188

NTT 電話でおかけの場合、三方-上中間は「0770」をつけてください。有線電話の場合は上記の番号のみで通話できます。

三方地域のもえるゴミ指定袋が変わります

住民課

今までのもえるゴミ指定袋は、ダイオキシンを排出しない材料で作られていましたが、今後はさらに環境に配慮して、材料に再生プラスチックを使用したエコマーク認定の袋に変更します。

それに伴い袋の色を、これまでの白半透明色から水色半透明色に変更いたします。価格は従来どおりで、厚さは少し薄くなりますが強度は変わりません。

また、今までの半透明色の袋についても従来どおり使用できます。

【三方地域もえるゴミ指定袋】

白半透明色⇒水色半透明色

●問い合わせ 住民課

献血にご協力ください

住民課

安定的な血液量の確保と供給に一人でも多くご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

■日時
10月1日(水)10:00～11:30
12:30～16:00

■場所
三方公民館前

■持参品
献血手帳、または献血カード、運転免許証、パスポート、保険証など本人確認のための証明書

●問い合わせ
住民課



宝くじで購入

企画環境課

宝くじの売り上げ金を財源とした「コミュニティ助成事業」で、朝霧区がイベント用具を、瓜生区が芸能備品を整備しました。このように宝くじの売り上げ金は、公共施設や備品などの整備にいかされています。

●問い合わせ
企画環境課



朝霧区に購入したイベント用具



瓜生区に購入した芸能備品

無料登記相談会

福井県土地家屋調査士会

土地の境界問題や地目変更、分筆登記についての相談、建物の新築、取り壊しの登記などについて、土地家屋調査士がお答えします。

■日時
10月4日(土)10:00～16:00

■場所
敦賀市男女共同参画センター
小浜商工会議所

●問い合わせ
福井県土地家屋調査士会事務局
TEL0776-33-2770

園芸フェスタ 2008

福井県園芸試験場

■日時
9月28日(日)
9:45～15:00

■場所
福井県園芸試験場
(美浜町久々子)

■内容
試験研究の紹介、園芸なんでも相談、青空特産市場、白干梅品評会、梅干し種飛ばし大会、梅せん定教室などを行います。また、さつま芋掘り、梅シロップ作り、花の摘み取り&アレンジメントなどの体験イベントもあります。体験イベントは予約が必要です。

●問い合わせ
福井県園芸試験場
TEL0770-32-0009

湖沼フォーラム in 三方五湖

福井県環境政策課

湖沼の水質改善に向けて、活動団体の取り組み事例の紹介など水環境保全に関するフォーラムを開催します。

■日時
10月25日(土)
13:00～15:30

■場所
三方青年の家

■内容 ※参加自由

・基調講演
講師：福井県立大学
廣石伸互教授
・パネルディスカッション
・展示コーナー

●問い合わせ
福井県環境政策課
TEL0776-20-0303

里山のキノコ 観察ウォーク

福井農林水産支援センター

身近な山にどんなキノコが生えているか、山歩きをしながら観察します。

■日時
10月25日(土)
9:30集合

■集合場所
井ノ口会館

■行き先
よもん平(井ノ口の里山)

■参加費
1,000円(大人のみ)

■募集人数、締め切り
先着50人
10月20日(月)〆切

●申し込み、問い合わせ
福井農林水産支援センター
TEL0776-21-0010

ご紹介ください!!

- ふるさと納税 -

●問い合わせ 総務課

住民の皆さんのご親戚、お知り合いなどで、若狭町へのふるさと納税に関心のある方がおられましたら、広報わかさ8月号で折り込みました「紹介者カード」でご紹介ください。役場から資料を送付いたします。

男女共同参画講演会

企画環境課

男女共同参画を考える講演会を開催します。

椎茸づくりに取り組む女性農業者の活躍を通して、それを支える家族の絆、男女の役割についての講演です。

■日時
10月10日(金)19:30～

■会場
三方公民館

■講師
姉崎裕美子氏
(女性農業者、越前町在住)

●問い合わせ
企画環境課

わかさ社会保険相談センター廃止

福井社会保険事務局

わかさ社会保険相談センターを9月30日(火)をもって廃止することになりました。今後は、現在の相談センターで出張相談所として相談者の対応を行います。

■出張相談日時
毎週火曜日、金曜日(祝日除く)
10:00～16:00(受付15:30まで)

■場所
小浜市白鬚地区再開発ビル3F

●問い合わせ
福井社会保険事務局敦賀事務所
TEL0770-23-9902

三方湖・ヒシの藻刈りをしてみませんか

五湖のめぐみワイズユースプロジェクト実行委員会

三方湖のヒシ獲り体験イベントを実施します。

舟や陸から獲ったヒシの実をみんなで食べ、葉っぱはたい肥にします。

ヒシ藻刈りで美味とエコの二兎両得!

■日時
9月28日(日)9:30～

■集合場所
縄文プラザ駐車場

●問い合わせ
若狭三方五湖観光協会
TEL0770-45-0113